

(別添2)

**【都城市】**  
**ネットワーク整備計画**

**1. 必要なネットワーク速度が確保できている学校数、総学校数に占める割合（％）**

「校内通信ネットワーク環境整備等に関する調査」（文部科学省・令和5年11月実施）の結果では、「学校規模ごとの当面の推奨帯域」（文部科学省・令和6年4月）を超える学校数は33校であり、総学校数55校に占める割合は60.0％である。

令和6年9～10月に各校のルーターのトラフィックを測定した結果、「学校規模ごとの当面の推奨帯域」（文部科学省・令和6年4月）を超える学校数は43校であり、総学校数55校に占める割合は76.8％である。

**2. 必要なネットワーク速度の確保に向けたスケジュール**

**(1) ネットワークアセスメントによる課題特定のスケジュール**

毎年度、7月～12月のいずれかで全学校で通信速度の測定を行う。令和7年度には、宮崎県ソフトウェアセンターに回線調査及び無線調査を委託し、詳細な調査結果とともに改善策の報告を受けた。

**(2) ネットワークアセスメントを踏まえた改善スケジュール**

ネットワークアセスメントの結果を踏まえ、測定結果から結果が芳しくなかった学校等の回線速度の見直し・無線AP等のネットワーク機器を更新し、令和8年度までにネットワークの高速化を完了させる。

**3. ネットワークアセスメントの実施等により、既に解決すべき課題が明らかになっている場合には、当該課題の解決の方法と実施スケジュール**

上記の通り、令和8年度にネットワークの高速化を実施。併せて、令和8年度から令和9年度にかけてセキュリティの強靱化を実施し、令和9年度上半期までにネットワークの再構築を完了させる。